

## 6 - 12 上宝における最近の地殻変動 (1985 年 9 月 ~ 1986 年 6 月)

Ground Deformations Observed at Kamitakara  
(September, 1985 - June, 1986)

京都大学防災研究所

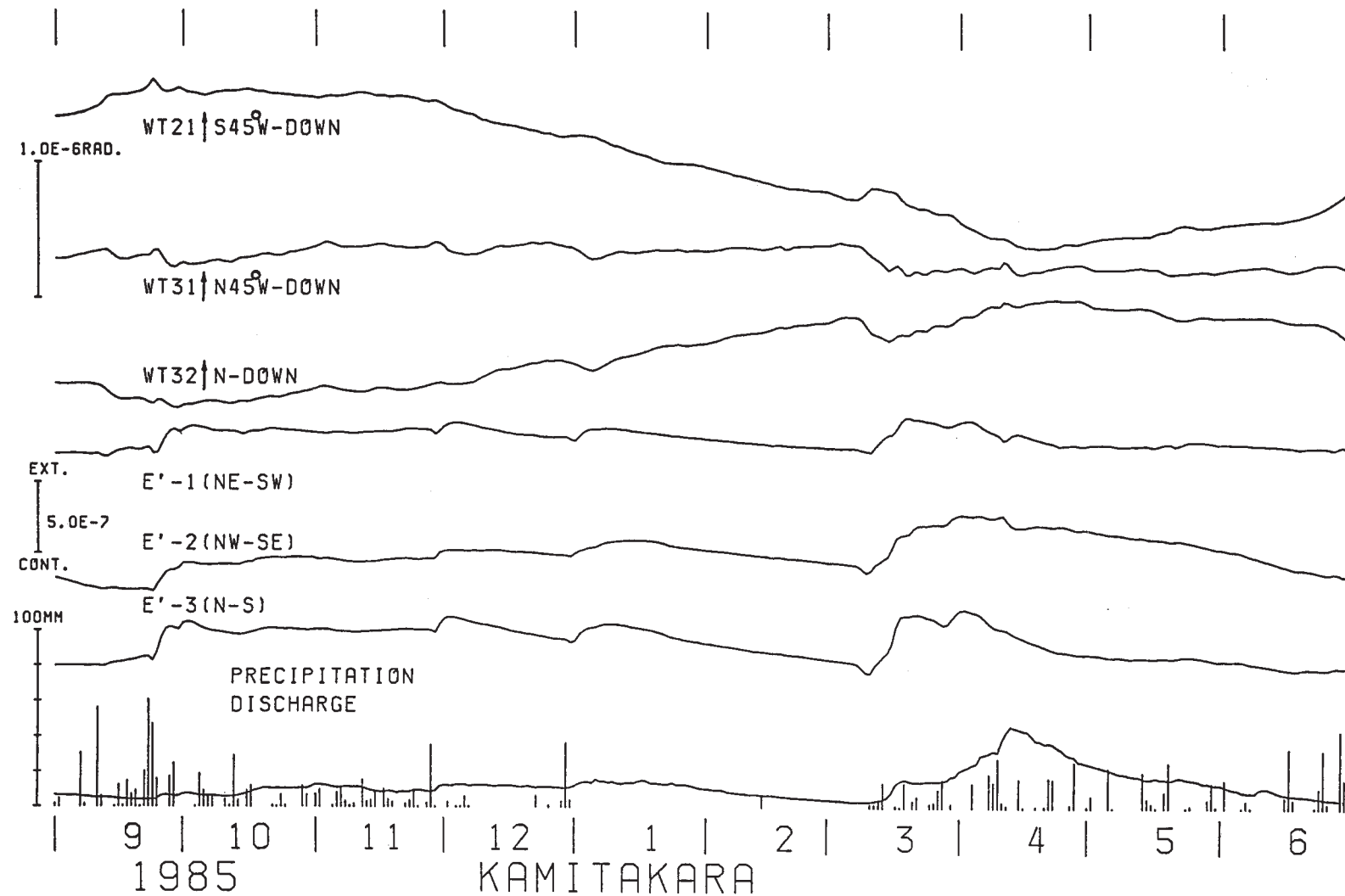
上宝地殻変動観測所

Kamitakara Crustal Movement Observatory  
Disaster Prevention Research Institute, Kyoto University

第 1 図に、1985 年 9 月から 1986 年 6 月までの、上宝における歪変化、傾斜変化、坑内湧水量および降水量を示す。湧水ならびに降水による擾乱を別にすれば、特に顕著な変動は見られない。湧水ならびに降水の影響が少ない 1985 年 6 月はじめから 1986 年 6 月はじめまでの 1 年間の永年変動量を単純に差をとって計算してみると、傾斜 3 方向で  $1 \times 10^{-7}$  ラジアン以下、歪 3 方向で  $(1 \sim 2) \times 10^{-7}$  以下であり、非常に小さな値になっている。

### 参 考 文 献

- 1) 京大防災研究所・上宝地殻変動観測所：上宝にわける最近の地殻変動 (1985 年 1 月 ~ 8 月)，連絡会報，**35** (1986)，401 - 402.



第1図 上宝における歪変化, 傾斜変化, 坑内湧水量および降水量 (1985年9月~1986年6月)

Fig. 1 Daily values of crustal strains observed with three components of strainmeters (E'-1, E'-2 and E'-3), crustal tilts observed with three components of water-tube tiltmeters (WT2I, WT31 and WT32), discharge of underground water, and precipitation (September, 1985 - June, 1986).